

長洲小だより 第17号

発行 長洲町立長洲小学校
長洲町長洲1776番地
Tel. 0968(78)0109 fax (78)7103



令和5年1月27日(金)

冬将軍到来

今週の寒さは近年にないものでしたが、皆様におかれましてはどのような1週間でしたでしょうか。特に25日(水)は、前日から降り続いた雪で、遅延登校の措置をとりました。朝から急な案内にも関わらずご対応頂きました保護者の皆様、地域の見守り隊の皆様にご心より感謝申し上げます。お陰様で子供達の事故やけが等も無く嬉しく思います。そして何より、当日は運動場が一面雪で覆われ、子供達は大喜びでした。3時間目からの登校でしたが、乾いた雪でしたのでしっかりと雪も残っており、みんなで雪合戦開始です。「3時間目のお勉強はどうしたの?」なんて、野暮なことは言いません。3時間目から4時間目にかけて、各学年の雪合戦の音が校長室にまで届き、筆者も当然外に出ました。待つてましたとばかりに標的にされる筆者。各学級の雪合戦でも、担任の先生がターゲットになっていました。みんな普段見せないような笑顔で走り回り、体から湯気が出るほどでした。

大人にとって降雪積雪は歓迎されざるものですが、子供達にとっては格好の遊びと思いい出作りができる場面となっていました。お昼過ぎに敷地内を巡回しますと、あちらこちらに雪だるまが作ってありました。子供達が楽しんだ証ですね。以下に様子を紹介します。



給食週間

1月24日から1月30日まで、全国学校給食週間です。長洲小学校でも給食委員会を中心とした取組で、給食の意味や有難さについて学んでいます。

学校給食の始まりは明治22年、山形県鶴岡町(現在は鶴岡市)にある小学校で、家庭が貧しくてお弁当を持ってこられない子供達のために無料で食事を提供したことから始まったとされています。その後、全国で学校給食が実施されるようになりましたが、戦争による食糧不足で中止することが決まりました。戦後、栄養が足りていない子供達を救うために、外国からの援助で給食が再開されました。昭和21年12月24日に新しい学校給食が始まったことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みに入ってしまったため、1か月後の1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とされました。

現在では、食べることが困難だったころから大きく変わり、偏った栄養摂取をはじめ生活習慣病の増加など、子供達の健康状態が心配されることから、バランスのよい食事のお手本として、また、「食育の要」として重要な役割を担っているのです。

歴史的な背景や意味を考えれば、食べることについてもっと考えなければなりません。

御正忌だご作り

24日(火)に、3年生が地域婦人会の皆様のご指導のもと、御正忌団子作り挑戦しました。御正忌(1月15日)に作られていた伝統料理であり、1月に的ばかい(破魔弓祭)が開催されることから「的ばかいだご」とも呼ばれています。筆者も頂きましたが、優しい甘さが口の中に広がり、「もう一個食べたい!」という気持ちになりました。ここ数年コロナ禍による自粛で多くの行事が中止されていますが、この様な伝統はしっかりと引き継いでいかなければなりません。

